

2016年

かもめ便り 8月版

Communication
Creativity
Culture

山の日

・2016年スタートの新しい祝日、8月11日は「山の日」です。山に関する特別な出来事など、明確な由来があるわけではないのですが、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という趣旨として施行となりました。国民の祝日になる前から全国各地に独自の山の日があり、その日付は様々ですが「八」の字が山の形にみえるため「8」、木が立ち並ぶイメージから「11」というふうに山を連想させる数字から「山の日」として定めていた傾向が各地であるそうです。山にまつわるイベントも各地で開催されます。山に親しむきっかけとして足を運んでみるのもいいですね。「山の日」を有意義に過ごしたいものです。

門倉組グループ交流会

7月8日(金) お客様から貴重な1日を頂戴し・・・

総勢200人超のグループ社員が一堂に集まり地曳網大会を開催し、懇親を深めました。全員でのビーチクリーン活動・メインイベントの地曳網でも生シラス・アジ etc.. 大漁でした！グループ「力」を活かし、一丸となって皆さまのお役にたてる様、仕事に邁進して参ります。



花火大会・・・始まりは江戸時代

「玉や〜ッ」の掛け声とともに夏の夜空に打ち上げられる大輪の花。現在でも夏の風物詩です。その花火大会が始まったのは江戸時代。家の中で涼むのが我慢の限界に達すると、暑さを忘れるために人々は、外、そして水辺へと出掛けていました。ただ橋の上で涼むのもいいのですが、本格的に涼みたい人は、船に乗り川の上で過ごしたそうです。これが「^{すず}涼み船」。涼み船が初めて出る日を川開きと言いました。川遊びの期間中は夜見世が許され、随時花火が上がりました。この花火、涼み船の客が座興に買っては上げていたそうです。涼み船の客に花火を売る「花火船」のほか、「うろうろ船」と呼ばれる、餅や酒、冷やし瓜などを売る小舟も数多く出て川面はとて賑わっており、数秒の楽しみに、1両・2両(※1両・現代で約6.6万円)と大金を使っていたとの事ですから、とても贅沢な納涼ですね♪

夏季の休業日につきまして、

下記のとおりお知らせいたします。

ご迷惑をおかけしまして大変申し訳ございませんが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

平成28年8月11日(木)

～平成28年8月17日(水)

8月18日(木)より通常営業を開始致します。

